■ 風流のはじめ館が開館

世代を越えてつながり交流する場へ

俳聖・松尾芭蕉と旧知の仲である本市の俳人「相楽等躬（とうきゅう）」にちなみ、10月9日、風流のはじめ館が開館しました。どなたでも利用できますので、お気軽にお越しください。

10月9日 オープニングイベントを開催しました！

開館を祝いテープカット

和洋女子大学教授の佐藤勝明さんによる講演

和文化に親しみ交流する場として

須賀川は江戸時代、奥州街道屈指の宿場町として栄えていました。俳聖・松尾芭蕉が「おくのほそ道」の旅の途中、相楽等躬を訪ねて8日間滞在したまちでもあります。

「風流のはじめ館」は、平成23年に被災した「芭蕉記念館」の機能の継承と、幅広い世代の皆さんが和文化に親しみ、交流を通してにぎわいを生み出す場として開館しました。

建物がある本町は、江戸時代に白河藩校の敷教（ふきょう）第二舎として開設されていた須賀川郷学所（ごうがくしょ）があったとされています。

ワークショップで施設名を検討

市民の皆さんによるワークショップで提案された名称案を基に施設名を決定しました。

「おくのほそ道」紀行の途中で等躬を訪ね、みちのくの地に入った感慨について詠んだ「風流の初やおくの田植うた」を踏まえたものでもあります。

資料の紹介や各部屋の貸し出しも

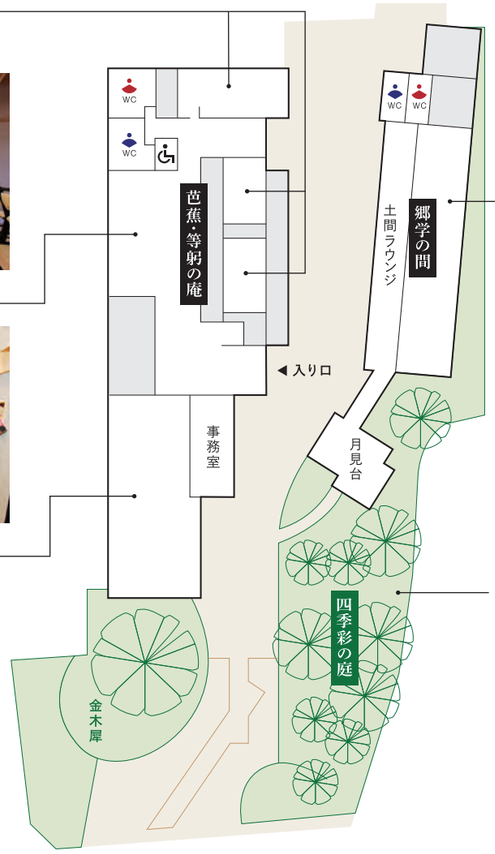
施設内は、資料の紹介のほか、各部屋の貸し出しもしています。

館内施設案内

白牡丹の間、花栗の間、花かつみの間（和室）

オープンギャラリー

文化伝承の間



郷学の間1・2（多目的室）

四季彩の庭

四季のうつろいの中で、様々な表情を感じることができる庭園

文化伝承の間　「芭蕉・曽良（そら）・等躬三子三筆詩箋（さんしさんぴつしせん）」など芭蕉ゆかりの資料や松明あかし、牡丹焚火（ぼたんたきび）など歳時記に関連した資料を紹介しています。

オープンギャラリー　各種文化団体や学生、子どもたちの作品を紹介し、新しい知識や価値に出会い、学ぶための空間です。和文化に関連する本もそろえています。

花かつみの間など（有料）　落ち着いた雰囲気の和室で、様々な文化活動に利用でき、茶室も備えています。

郷学の間1・2（有料）　文化を学ぶスペースとして、講演やワークショップを開催するなど様々な活動に利用できる多目的室です。

貸し出し料金など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

なお、駐車場はありませんので、市役所駐車場をご利用ください。施設を利用した人は無料措置をしますので、事務室に駐車券を提示してください。

問 文化振興課☎(88)9172

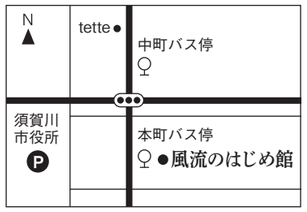
利用してみてどうですか？

後藤 千世（ちせ）さん（鏡石町在住）

子どもたちと一緒に行燈（あんどん）作りのワークショップに参加しました。世界に一つしかない、愛しい我が家の灯りとして飾っています。

施設入り口の大きな金木犀（きんもくせい）や、手の込んだ純和風な建物はとても見応えがあり感動しました。

これからこの施設で、親子連れなどの若い世代が和文化と触れ合えるような機会があればすてきですね。

施設概要

所在地
本町81番地4
TEL　(72)1212
FAX　(94)2230
開館時間
午前9時～午後10時
（日曜日、祝日は午前9時～午後8時）
※文化伝承の間のみ午前9時～午後5時
休館日　火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）